E-mail info@osaka-books.ne.jp
HPURL http://www.osaka-books.ne.jp

# コロナ禍で果たしている書店の役割

大阪 組合だより

発行所
〒530-0047 大阪市北区
西天満４丁目10番７号
大阪府書店商業組合
電話 06-6361-5577
FAX 06-6361-3220
発行責任者 面屋 龍延
広報委員長 東 正治

## 明けまして おめでとうございます

理事長
面屋　龍延

と申し上げてよいかどうか迷いの中です。

さて、コロナが昨年より全世界を覆っています。年末で7700万人が感染し170万余の死者が出ています。未だ留まるところを知りません。

100年前のスペイン風邪では世界人口の三分の一5億人が罹患し5000万人の死者が出たそうです。

100年前で連想したのですが、明治維新から、日清、日露、第一、第二次大戦と戦争の世紀の77年間。そしてそれから平和憲法の下での今年は75年が経ったのですね。

何だか変な運びになりましたが、正に戦争を想起させる事態となっています。

コロナ禍で新学期前には休業を余儀なくされた書店も多かったですが、休業明けから暫く読者が殺到しました。これまでも災害に見舞われると書店にお客様が多く来られます。

災害への不安が読書を呼び起こすのでしょうか。出版業界がいち早く刊行するコロナ関係の書籍類とそのコーナーを設置する書店の役割はもとより、もっとより広く読者の声を現場で感じる次第です。

## 30％マージンが無ければ経営を維持できない

昨年は一昨年からの30％マージンが無ければもう経営は維持できないというテーマがありました。その中で出てきた月商200万円以下の書店への雑誌の定期配達手当のようなものを5％付けて欲しい。

また、政府が音頭をとっているキャッシュレスの推奨で店頭での扱い額がドンドン増えているが、3％の手数料を取られる。これを業界全体の負担としてもらえないかという課題です。

少し振り返ると

①2015年「全国書店実態調査」実施。2016年発表。

②2017年「業界三者実務者会議」の設置を取次・出版社13社を回り要請。

③2018年「会議」4回開催。

④取次・版元から「日書連」からの提案を要望される。

⑤2018年11月日書連「書店を残すための粗利30％以上実現の方策についての『実務者会議』への試案」を発表。これは実務者会議レベルのものではないと言われる。

⑥2019年「日書連試案」（「全国書店新聞」令和元年7月15日号所収 URL http://n-shoten.jp/newspaper/index.php?e=621）を持って春と秋に版元11社を回る。

⑦2020年コロナ禍が厳しくなる前の3月に2社訪問したが、以降話し合い出来ず。

この間取次2社も書店の粗利益は30％必要だとの見解をだしてその実現を目指すとしています。また、個々の商品で大幅な報奨をつける出版社も出てきています。

幸い大手出版社は軒並み大幅黒字の決算の様ですし、町の書店を残すために話し合いの余地はあると思っています。

「日書連試案」の運動をどう進めていくのか

昨年はコロナで日書連も大阪組合も理事会も殆ど開催できませんでした。ただ書協や雑協の理事長が数年振りで替わりました。先ずは挨拶に行って話し合いを始めたらと思っています。最もこれもコロナとの兼ね合いを図りながら。

●三つ　府内各市の図書館納入

●四つ　「子どもの本の帯創作コンクール」「読書ノート」運動

●五つ　役員改選の総会の年

などが今年の大きなテーマです。

いずれにしましてもコロナ禍の中で共存しながら組合員の皆様の役に立つ組合活動を展開します。

皆様も大変な苦境の下で一日でも長く営業を続けられますよう共にかんばりましょう。

## 昨年にあった主な3点

一つ　「鬼滅の刃」最終23巻初版3955万部、全巻1億5000万部の一大ヒットにより町の書店の多くは前年比プラスに転じた。

二つ　全国書店再生財団を保育園児から高校生までに総額約25億円分配布。

三つ　大阪府がゴールデンウィーク前に一人あたり2000円の「図書カード」を保育園児から高校生までに総額約25億円分配布。

## 第16回「子どもの本の帯創作コンクール」コロナ禍の中で6300点の作品集まる

昨年は学校も長期の休校や夏休みの短縮などで学習リズムも大きく乱れました。その上小学校の教育現場は5年ぶりの指導要領の改訂があり教科書も変わりました。そんな中作品の数はほぼ普段の半分になりましたが良く集まったと思います。

先生方に感謝申し上げます。また共催者の朝日新聞社さんは受賞作紹介にはそれぞれの子どもさんに取材してくださっています。例年にも劣らず紙面を割いて報道して頂きました。それに読書推進会の宮川健郎会長には優秀作の選考に労をとって頂き有難うございます。

## 2021年の課題

●一つ　コロナとの闘い

今年は年初からコロナとの闘いがあります。新しいワクチンが開発されるまでお互いに工夫しながら健康第一で頑張りましょう。書店は今のところ休業や時短を要請される業種ではありません。

●二つ　マージンアップや

2020年度　読書週間
「書店くじ」当せん番号

1等賞（33本）●図書カード又は図書購入時に充当10,000円
各組共通（下5桁）
16754　21962　31878

2等賞（110本）●図書カード又は図書購入時に充当1,000円
各組共通（下4桁）
1060

3等賞（3,300本）●図書カード又は図書購入時に充当500円
各組共通（下3桁）
436　569　679

4等賞（110,000本）●図書購入時に充当100円
各組共通（下1桁）
1

※賞品引換期限＝2021年1月10日（以後無効）
当せん券は、くじ実施書店で賞品と交換して下さい。
図書カードのない場合は、相当額の書籍又は雑誌と交換して下さい。
日本書店商業組合連合会
www.n-shoten.jp